

要 覧

令和3年度



福岡県立図書館

目 次

1	沿 革	1
2	運営の基本方針	3
3	令和2年度事業	5
4	組 織	9
5	福岡県立図書館協議会委員	10
6	予 算	11
7	施設 の 概 要	11
8	利 用 案 内	12
9	統 計 資 料	14
10	令和2～3年度 新型コロナウイルス感染症対応記録	22

1 沿革

大正 4年10月 (1915年)	大正天皇御即位記念事業として、福岡県立図書館を設立することが臨時県会において可決、3か年継続事業として総経費132,240円
大正 4年12月 (1915年)	福岡県立図書館規則を制定し、図書館を福岡県庁内に設置
大正 7年 3月 (1918年)	同館落成、5月1日から一般の無料閲覧を開始 場所は現在の天神2丁目、本館は木造2階建て延べ492坪、書庫は煉瓦造り3階建て延べ120坪、蔵書は和洋書約25,000冊 この建物は昭和20年6月19日戦災により焼失
昭和20年 6月30日	仮事務所を中学修猷館内に置き復興事務を開始
昭和23年 8月	県議会において本館の復興を可決し、総経費530万円をもって工事に着手し、昭和24年7月1日落成、7月4日から閲覧を開始、場所は博多区東公園内で、本館は木造平屋建て141坪、書庫は2階建て35坪
昭和35年 9月10日	県と市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を取り交わし、市が公会堂を県は図書館を建設することを決定
昭和38年 2月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし、工費34,056万円をもって2月15日着工、翌39年8月15日落成
昭和39年11月 3日	文化会館が中央区天神5丁目を開館、鉄筋コンクリート4階建て、書庫地下1階、地上7階延べ7,205㎡
昭和54年12月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が12月県議会において議決
昭和56年 4月21日	図書館新築工事着工（施設の概要は別記）
昭和57年12月	12月県議会において、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、図書館を設置
昭和57年12月27日	新館竣工
昭和58年 2月25日	落成式挙行
昭和58年 4月 1日	開館、一般閲覧開始
昭和59年11月 4日	日曜開館実施
平成 5年10月 1日	県議員会館が図書館に所管換される
平成 6年 9月	図書館別館改築工事着手（県議員会館の転用）
平成 7年 3月31日	別館竣工
平成 7年 4月 7日	別館開館、一般供用開始
平成 7年 6月 2日	別館落成式
平成 7年11月10日	本館地下書架増設に伴う改築工事着手
平成 8年 3月15日	同上竣工

平成 8年	3月22日	電算による業務開始
平成10年	5月15日	インターネットによる図書情報提供開始(福岡県立図書館所蔵和図書情報33万件) 「ふくおか生涯学習ネットワーク」 (アドレス http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/)
平成11年	4月 1日	福岡県立図書館組織規則改正 インターネットによる図書情報提供に北九州市、福岡市加わる (福岡県立図書館、北九州市立中央図書館、福岡市総合図書館 3館の和図書情報計130万件)
平成12年	3月	図書館協力車として車1台の寄贈を受ける (平成16年度以降資料配送業務を外部委託)
平成13年	10月	別館子ども図書館増改築工事着手
平成14年	2月22日	同上竣工
平成14年	4月23日	子ども図書館開館記念式典
平成15年	8月	ビジネス支援情報コーナー設置
平成16年	2月	新・福岡県図書館情報提供システム稼働開始 ネットワーク加入館の拡大
平成17年	1月	平成16年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)
平成17年	4月	休日開館実施
平成17年	11月	「学校支援サービス」の拡充(学校貸出図書セット運用開始)
平成19年	7月24日	青少年と暮らしの交流室設置 (令和2年2月第一閲覧室別室へ名称変更)
平成21年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成22年	3月	在架予約サービス開始
平成22年	10月	遠隔地貸出・返却サービス本格実施
平成24年	10月	福岡市立図書館との相互返却を開始
平成25年	6月	福岡県公共図書館等協議会において、全県的に「学校支援サービス」本格実施
平成25年	11月	第99回全国図書館大会福岡大会開催
平成26年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成27年	2月	平成26年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)
平成30年		開館100周年
平成30年	11月18日	「開館百周年記念式典」挙行
平成31年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成31年	4月	「遠隔地貸出・返却」サービスの名称を「指定館受取・返却」サービスに変更
令和 2年	4月	福岡県立図書館組織規則改正(班制の実施)
令和 2年	10月15日	電子図書館サービス(KinoDen)提供開始

2 運営の基本方針

福岡県立図書館の基本理念

生涯にわたる県民の学びと読書、福岡県に関する地域文化の継承と発展に貢献する図書館

福岡県立図書館の使命

館種を越えた県内図書館の情報拠点として、幅広く多様な視点から資料・情報を収集・保存・提供するとともに、多彩な情報発信を行うことにより、資料・情報の利活用による県民の学び、個々の課題解決、読書への意欲を育み、県民が自ら学ぶ気風の醸成と地域文化の未来への継承・発展に貢献すること

基本方針

福岡県立図書館の使命を実現するため、公共図書館をはじめとする県内の各種図書館と連携・協力し、図書館員の専門的能力を生かしながら、資料や情報を収集・保存・提供するとともに、積極的かつ多彩な情報発信を実践します。

目標1：「生涯にわたる学びの支援と情報発信」

幅広く多様な資料・情報を収集・保存・提供し、あわせて多彩な情報発信を行うことにより、県民の学びや課題解決を支援します。

- (1) 専門書・参考図書を中心に紙資料を網羅的に収集するとともに、各種データベースや電子書籍を含むデジタル資料の充実に努め、県民の学び、課題解決に役立つ蔵書構築を目指します。
- (2) 調べ方の案内やレファレンス事例等の蓄積・発信により、国内及び国外の調査研究のための情報共有を促進します。
- (3) 国や県の関係機関等と連携・協力し、県民の学びに役立つ展示や講演会などの共同企画を実践します。
- (4) ホームページやSNS・動画配信等の活用により、多彩で効果的な情報発信を実践します。

目標2：「子どもの学びと読書へのいざない」

子どもの学びと読書活動の推進拠点として、子どもの豊かで多様な学びを支え、読書の喜びを伝えるお手伝いをします。

- (1) 子どもの本を網羅的に収集・保存・提供するとともに、子どもが読書に親しむための取組や技術の充実に図り、子どもの読書活動を推進します。
- (2) 学校や県学校図書館協議会と連携・協力し、子どもの探求的な学習や読書活動を支援します。
- (3) 読書ボランティアの養成や活動を支援し、市町村の子どもの読書活動推進に資するよう努めます。

目標3：「ふくおかの文化を育む」

福岡県に関する資料・情報を収集・保存・利活用するため、紙資料の収集・保存とともに、デジタルアーカイブの充実に図ることにより、地域文化の継承・発展を支援します。

- (1) 福岡県に関する紙資料の収集・保存と並行して、デジタル化を主とする資料の媒体変換を行い、市町村と協力して県全体としてのデジタルアーカイブを構築することにより、福岡県独自の資料・情報の利活用と情報発信を推進します。

- (2) 福岡県に関するレファレンス・ツールの作成とレファレンス事例の蓄積により、国内及び国外の福岡県に関する調査・研究を促進します。
- (3) 地域の出版社や書店と連携・協力し、福岡県に関する出版物等を収集・保存し、利活用のための情報発信を行うことにより、地域文化の継承・発展を支援します。

目標4：「バリアフリーの実現」

県民が、等しく学び、読書に親しむことができる環境を整備することにより、心の豊かさと生きる力を育むお手伝いをします。

- (1) 「障害者差別解消法」、「読書バリアフリー法」などに適切に対応したサービスや設備の改善を行うことにより、誰もが使いやすい図書館を目指します。
- (2) 読書に困難がある人へのサービスとして、大活字本やデージー及びマルチメディアデージー図書・LLブック・音声読み上げ機能付電子書籍等を収集・提供し、情報アクセスの向上に努めます。
- (3) さまざまな理由による情報格差を解消するため、先進的な情報技術の活用も視野に入れ、利用案内や検索支援等、県民の情報リテラシー(情報の利活用能力)向上のための情報提供を行います。
- (4) 福岡県で生活する外国人へのサービスとして、また、県民との相互理解を深めるため、日本を紹介する資料や外国語資料の充実に努めます。

目標5：「図書館サービスの推進拠点」

公共・学校・大学・専門図書館やボランティア団体をはじめとする県内の読書関連団体と連携・協力し、電子図書館を含む県全体の図書館サービス向上を目指します。

- (1) 研修事業を充実するとともに、図書館運営等に関する情報提供や各種相談に対応し、新たなサービス等についての調査研究を行うことにより、県内公共図書館等職員の育成支援と技術の継承を図ります。
- (2) 資料配送業務を含む「福岡県図書館情報ネットワーク」の運営により、相互貸借や共同研修の企画など、図書館の館種を越えた連携・協力を推進します。
また、電子書籍の本格的導入により、非来館型サービスを展開し、ネットワークの充実に図ります。
- (3) 図書館ボランティアと連携し、ボランティアの育成を支援することにより、官民の垣根を越えた図書館サービスの充実に目指します。

3 令和2年度事業

(1) 研修・講座等

事業名		開催月日	内 容	参加者等	
読書週間 関連事業	1日図書館員体験 (小学生)	10月31日(土)	① カウンター業務体験 ② 館内見学 ③ おはなし会の補助、書架整理	小学5・6年生 6名	
	布の絵本展	10月27日(火) ～ 11月15日(日)	ゆずりはの会が制作した布絵本の展示	県民一般 364名 (大人154、 子ども210)	
	本の展示	10・11月	子ども図書館司書おすすめの本の展示	県民一般	
	読書講演会	2月13日(土)	「本と本屋と図書館の楽しみかた」 ライター 永江 朗氏	県民一般 図書館関係者 49名	
	県立図書館・放送 大学 コラボ公開 講演会	1月31日(土)	「働き方の変化とモチベーション論 ～働き方改革の時代に～」 九州大学大学院人間環境学研究院 准教授 池田 浩氏	県民一般 25名	
公共図書館等 職員研修会	基本研修	初任者研修会	『図書館勤務初めの一步』の配布を以て開催に代えた	公共図書館・公民館職員等	
		中堅職員研修	10月26日(月)	対象：県内公共図書館等関係者 内容：講演 「図書館とデジタルアーカイブ」 講師 骨董通り法律事務所代表パートナー 福井 健策 氏 講義 「図書館と著作権の実務」 講師 福岡県立図書館総合サービス室 一般図書班長 森 弘成	公共図書館・公民館職員等 99名
	専門研修	資料デジタル 化研修会	9月28日(月)	対象：公共図書館等の職員 内容：資料のデジタル化に関する講義等 講義：「図書館資料のデジタル化」 講師：国立国会図書館 関西館 電子図書館課 資料電子化係長 福山 潤三氏 事例発表①：「福岡市総合図書館古文書資料コレクション紹介について」 福岡市総合図書館 文学・映像課 古文書係 鈴木 文氏 事例発表②：「田川市立図書館のデジタルアーカイブについて」 田川郷土研究会会長 中野 直毅 氏 事例発表③：「福岡県立図書館デジタルライブラリについて」 福岡県立図書館職員	27名
		レファレンス 研修(初級)	12月8日(金) ～ 3月31日(水)	対象：図書館業務経験延べ3年未満の職員 内容：「ハイブリッド情報検索」 期間限定動画公開 講師：福岡県立図書館職員	311回再生
		レファレンス 研修(中級)	10月5日(月)	対象：図書館業務経験延べ3年以上5年未満の職員 内容①：「法令に関する情報の調べ方」 講師：国立国会図書館調査及び立法考査局 議会官庁資料課 牛島 靖欧 氏 内容②：「レファレンス課題調査(演習)」 講師：福岡県立図書館職員	29名

子どもと読書研修会	児童図書館 入門講座(全2回)	6月遠隔研修 7月6日(月) 9月28日(月)	対象：児童サービス経験2年未満 内容：読み聞かせ、選書、レファレンスについての 講義及び実習	公共図書館・公民館職員等 20名 (延べ40名)
	専門講座 ※子ども読書推進事業「ボランティアスキルアップ講座」と合同開催	12月7日(月)	対象：県内公共図書館(室)職員等 内容：講座「やってみようブックトーク」 講師 児童書専門店「こどもの広場」 主宰 横山 眞佐子 氏	公共図書館職員等 25名
子ども読書推進事業	子ども読書推進講座	10月12日(月)	講座：「読み聞かせから広がる世界 ～絵本からのアプローチ」 講師：本と子どもの発達を考える会 会長 谷口 和恵 氏	読書ボランティア・子どもの読書推進に関心がある人等 24名
	青少年読書推進事業「青少年読書講座」	9月14日(月)	内容：講義・実習 「ヤングアダルトサービス ～図書館でのゲーム企画について～」 講師：日本図書館協会認定司書 高倉 暁大氏	県内公共図書館(室)職員、教職員、学校司書、社会教育関係職員等 32名
	子ども読書スキルアップ講座 ※「子どもと読書」研修会専門講座と合同開催	12月7日(月)	対象：県内公共図書館(室)職員等 内容：講座「やってみようブックトーク」 講師 児童書専門店「こどもの広場」 主宰 横山 眞佐子 氏	公共図書館職員等 25名
ボランティア研修等	音訳等ボランティア研修会 (福岡県点字および録音図書連絡協議会職員・ボランティア研修会と合同開催)	2月10日(水)	会場：クローバープラザ 演題：「『もっと前へ』見えない・見えにくい人の安心のために」 講師：社会福祉法人ほくてん「北海点字図書館」 姉崎 久志 氏	音訳等ボランティア 55名

(2) 大会等

事業名	開催月日	内容	参加者等
第54回 福岡県地方史研究 協議大会(『地方史ふく おか』第168号誌上開催)	2月25日発行	テーマ：「福岡県の戦争の記憶と記録を語る ー福岡県の戦争遺跡Ⅱー」 ・築城飛行場の開設と周辺の戦争遺跡 山内 公二 氏(美夜古郷土史学校事務局長、行橋市文化財調査委員) ・福岡市の戦争遺跡と市民の記憶 首藤 卓茂 氏(古書店かぼちゃ堂 店主) ・大牟田に関する戦争・空襲の実相と遺跡 中嶋 光秋 氏(大牟田の空襲を記憶する会 代表)	発行部数 1000部

(3) 郷土資料調査

	期 間	資 料 名
第1回	令和3年1月～2月のうち延べ10日間	「武谷文庫 (E)」

(4) 企画展示

期 間	展 示 内 容	場 所
5月19日～7月30日	「福岡の出版社に関する展示」	本館1階エントランス
10月1日～11月29日	「日本書紀の時代～編纂1300年～」	
1月26日～2月21日	「発見！福岡県立図書館」	
3月23日～ 5月9日	映画資料展示 「こんな時期だから映画を観て、ポジティブマインド！」	

郷土資料ミニ展示		郷土資料ミニ展示
第1回「ふくおかブランドの農産物」	(5月～6月)	本館3階エレベーターホール
第2回「炭鉱と文化～三池炭鉱を中心に」	(7月～9月)	
第3回「福岡の発明家たち」	(10月～1月)	
第4回「福岡の医者」	(2月～5月)	

(5) 出版

福岡県立図書館要覧 令和2年度
福岡県立図書館報 (No.76)
令和2年度 読書週間特別企画 高校生/ティーンズの推し本!

(6) 職場体験活動等受入状況

事 業 名	期 間	活 動 内 容 等	参加者等
図書館実習	8月31日～9月11日	カウンター業務 (貸出・返却等) 相互貸借業務 資料整理業務	5名

(7) 福岡県公共図書館等協議会事業

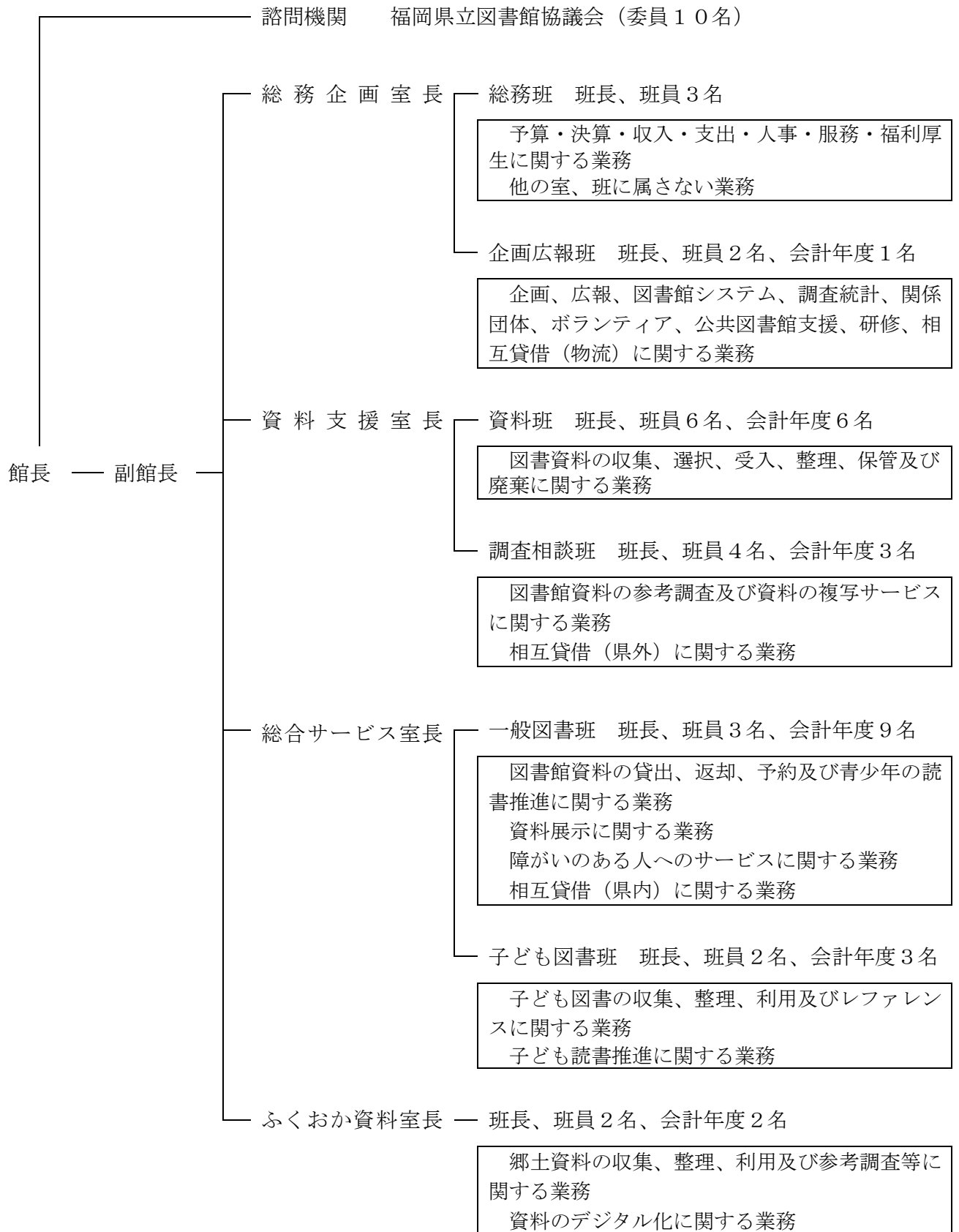
事業名	期間	内容	参加者等
総会・館長等研修会	10月26日(月)	対象：県内公共図書館等関係者 内容：講演 「図書館とデジタルアーカイブ」 講師 骨董通り法律事務所代表パートナー 福井 健策 氏 講義 「図書館と著作権の実務」 講師 福岡県立図書館総合サービス室 一般図書班長 森 弘成 ※福岡県立図書館主催の中堅職員研修と兼ねる ※総会は書面開催	公共図書館・ 公民館職員等 99名
職員研修会	2月15日(月)	対象：県内公共図書館等関係者 内容：講演『「人・情報・空間」のつなげ方 ～動き続ける図書館をめざして～』 講師 県立長野図書館 企画協力課主査(司書) 朝倉 久美 氏 (ZOOMによるリモート講義) 説明「ZOOM会議(イベント)を始めるには」 講師 福岡県立図書館総務企画室企画広報班長 綾香 博充 演習「ZOOMで質疑応答をやってみよう」 電子書籍の導入に関する事例発表 ① 宇美町立図書館 主任技師(司書) 吉野 茉里奈 氏 ② 行橋市図書館 館長 松田 彰 氏	公共図書館・ 公民館職員等 54名
理事会	6月書面開催 3月16日(火)	事業計画等の検討 協議会内の連携協力を図るための情報交換等 協議会の取組課題について	
各種委員会	図書館課題検討委員会	9月、3月 書面開催	雑誌の分担保存について 調査・研究テーマについて
	研修委員会	11月6日(金) 3月書面開催	県協議会主催の研修会の企画検討
出版	「令和2年度 福岡県公共図書館等概況」		

(8) 福岡県点字および録音図書連絡協議会事業

総会	7月3日(金)	会場：福岡県立図書館	13名
担当者連絡会	11月13日(金)	会場：福岡県立図書館	15名
職員・ボランティア研修会 (音訳等ボランティア研修会と 合同開催)	2月10日(水)	会場：クローバープラザ 演題：「『もっと前へ』見えない・見えにくい人の 安心のために」 講師：社会福祉法人ほくてん「北海点字図書館」 姉崎 久志 氏	55名

4 組 織

令和3年4月1日現在



5 福岡県立図書館協議会委員

選出区分	氏名	役職名 (就任時)	委員任期	摘要
学校教育関係者	伊東 和範	粕屋町立大川小学校 長	R2. 7. 14～R3. 9. 7	
			R3. 9. 8～R5. 9. 7	
〃	樋口 由美子	福岡県立福岡高等視 覚特別支援学校長	R1. 9. 8～R3. 9. 7	
〃	松本 佳子	福岡県立福岡高等視 覚特別支援学校長	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
社会教育関係者	一ノ瀬 留美	筑後市立図書館長	R1. 9. 8～R3. 9. 7	
			R3. 9. 8～R5. 9. 7	
〃	峰 恵	録音図書製作ボラ ンティア	R1. 9. 8～R3. 9. 7	
			R3. 9. 8～R5. 9. 7	
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	秀村 香織留	福岡県PTA連合会 副会長	R1. 9. 8～R3. 9. 7	
〃	香月 まゆみ	福岡県PTA連合会 副会長	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
学識経験者	葉袋 秀樹	筑波大学名誉教授	R1. 9. 8～R3. 9. 7	会長
〃	古田 雅憲	西南学院大学教授	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
〃	石田 栄美	九州大学准教授	R1. 9. 8～R3. 9. 7	
〃	山元 悦子	福岡教育大学教授	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
〃	長谷川 澄男	福岡県書店商業組合 相談役	R1. 9. 8～R3. 9. 7	
〃	安永 寛	福岡県書店商業組合 理事長	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
〃	岡野 秀之	九州経済調査協会 事業開発部長	R1. 9. 8～R3. 9. 7	
			R3. 9. 8～R5. 9. 7	
〃	安部 弘彦	福岡県議会議員 (文教委員)	R1. 7. 26～R3. 7. 7	
〃	江口 善明	福岡県議会議員 (文教委員)	R3. 7. 8～R5. 9. 7	

10名 任期2年

6 予 算

事 項 名	金 額
図書館運営費	1 2 7, 6 8 7 千円
図書資料購入費	7 9, 9 7 0 千円
読書推進活動費及び図書館普及事業費	3 4 3 千円
図書資料整備費	2, 9 6 0 千円
図書館業務委託事業費	2 7, 0 5 2 千円
図書館整備費	2, 2 3 1 千円
合 計	2 4 0, 2 4 3 千円

7 施設の概要

本 館

構 造	鉄筋コンクリート造（地下1階・地上5階建）		
敷地面積	3, 3 2 9 m ²	建築面積	1, 7 4 7 m ²
延床面積	7, 9 4 5 m ²	総工費	2, 4 8 4, 7 1 5 千円

別 館

構 造	鉄筋コンクリート造（地上5階建）		
敷地面積	1, 6 5 3 m ²	建築面積	8 0 9 m ²
延床面積	3, 2 6 9 m ²	総工費	4 5 9, 3 2 9 千円
（うち子ども図書館増築分）	1 5 0 m ²		6 4, 9 6 0 千円（）

8 利用案内

(1) 開館時間

本館	第1閲覧室 (1F)	午前9時～午後7時 (日曜日は午後5時まで)
	第1閲覧室別室 (1F)	
	第2閲覧室、新聞室 (2F)	
	ふくおか資料室 (3F)	
別館	子ども図書館 (1F)	午前9時～午後5時
	学習室 (3F)	午前9時～午後5時
	録音図書室 (5F) ボランティアルーム	午前9時～午後5時 (一般の方の利用はできません)

(2) 休館日 (令和3年度)

毎週月曜日

図書整理日 (毎月末日。ただし、土・日曜日に当たるときは開館)

創立記念日 (4月1日)

年末年始 (12月28日から1月4日)

特別整理期間 (令和4年2月25日から3月10日)

(3) サービス内容

① 個人貸出

図書資料は貴重書・参考資料・その他規則により制限されているものを除き、貸出をしています。

貸出は利用者の住所・氏名が確認できるもの(運転免許証・健康保険証・学生証など)の提示により登録を行い、利用者カード(発行日から3年間有効)を発行して、その日から行っています。

貸出は同時に10点まで、貸出期間は15日間(貸出日を含む。)です。

② 予約サービス

電話や当館ホームページで在架資料の予約もできます。

③ 指定館受取・返却サービス

当館が所蔵している資料について、利用者本人によるインターネットでの予約申込みにより、県内最寄りの図書館等で受取・返却ができます。

④ 相互貸借による資料提供サービス

当館が所蔵していない資料については、利用者の求めにより他の図書館(県内外の公共図書館・国立国会図書館等)から借り受けて利用に供しています。

- ⑤ インターネットによるサービス
インターネット上のホームページから、蔵書検索、新着資料一覧が見られるほか、パーソナルサービスとして利用者本人の貸出・予約情報の照会もできます。
所蔵資料の情報提供サービスは県内公共図書館所蔵情報を横断検索できるシステムを構築し、令和3年4月現在、参加60館(県立図書館含む図書館(室)・専門図書館等)の図書資料情報が県立図書館ホームページから一括検索が可能です。
- ⑥ 複写サービス
所蔵資料の電子複写及びマイクロフィルムからの引き伸ばしを、著作権法の範囲内で有料で応じています。
- ⑦ レファレンスサービス
日常生活の中などで起こる疑問や各種の調査・研究について、資料提供など相談に応じています。
電話、FAX、文書、Eメールでの相談も受け付けています。
- ⑧ ビジネス支援サービス
起業、就職、資格取得等の情報提供、支援を行っています。
新聞記事、判例その他ビジネス情報のデータベースが利用できるほか、インターネット情報検索用パソコンも設置しています。
- ⑨ 学校支援サービス
学校における読書活動の推進や教育活動の支援のため、特別貸出事業及び学校貸出図書セット事業、図書館活用リーフレットの作成を行っています。
- ⑩ バリアフリーサービス
読書に困難のある人(視覚障がいだけでなく失読症等の学習障がいなどがある方も対象)へのサービスのため録音図書の提供を行っています。
録音図書製作ボランティア「福岡県立図書館音訳の会」に委嘱して録音図書を製作しています。
また、拡大読書器を設置するとともに、大活字本の購入を進めています。
- ⑪ 電子図書館サービス
非来館型サービスの一環として、令和2年10月15日から電子図書館サービス「Kino Den」の提供を開始しました。専門書を中心に令和3年7月30日現在、2900タイトルが閲覧可能です。音声読み上げに対応している書籍もあります。
「福岡県立図書館デジタルライブラリ」では、当館で収集保存している福岡県に関する図書・雑誌・新聞・行政資料・古記録類・視聴覚資料などの一部をデジタル化し、閲覧・利用しやすい形で公開しています。

9 統計資料

(1) 所蔵資料

① 図書資料

(単位：冊)

	30年度末現在	R1年度末現在	R2年度末現在
一般	743,277	711,146	710,805
郷土	48,893	51,155	52,065
子ども	98,555	99,694	101,705
小計	890,725	861,995	864,575
学校貸出セット	8,341	6,322	6,233
計	899,066	868,317 (注1)	870,808 (注2)

(注1) 上記のほか図書館システム未登録資料が39,899冊あり

(注2) 上記のほか図書館システム未登録資料が39,861冊あり

② 逐次刊行物

(単位：タイトル)

		30年度末現在	R1年度末現在	R2年度末現在
雑誌	一般	9,807	9,818	9,818
	郷土	7,585	7,674	7,676
	子ども	172	171	171
	計	17,564	17,663	17,665
新聞	一般	234	234	236
	郷土	263	263	263
	子ども	4	4	4
	計	501	501	503
法令集		5	5	5
規格資料等		4	4	4
合計		18,074	18,173	18,177

③ その他資料

			30年度末現在	R1年度末現在	R2年度末現在
マイクロ資料	ロール	一般室	1,926 リール	1,926 リール	1,926 リール
		郷土室	5,844 リール	5,891 リール	5,936 リール
		計	7,770 リール	7,817 リール	7,862 リール
フィッシュ			11,141 枚	11,141 枚	11,141 枚
レコード			1,227 枚	1,227 枚	1,227 枚
ビデオ、CD-ROM等			2,158 点	2,082 点	2,115 点
視力障害者用録音資料			18,166 巻(枚)	18,271 巻(枚)	18,385 巻(枚)
布の絵本			140 冊	144 冊	148 冊
電子書籍					663 点

④ 特別コレクション

i 当館所蔵資料

福岡県史編さん資料	795 点
大田資料（藩政資料）	554 点
諸岡家文書（怡土郡大庄屋記録）	305 点
明石家文書（箱崎浦大庄屋記録）	375 点
河内卯兵衛資料（同氏遺品）	約 6,000 点
小原菁々子俳諧文庫（俳句関係資料ほか）	約 1,000 点
福岡県農業総合試験場資料	178 点
安部資料（安部幸六氏鳥類研究資料）	約 400 冊
波多江文庫（現代蒐書）	約 30,000 冊
エスペラント資料（伊藤徳之助氏遺品）	約 400 冊
萩尾映画資料（スチール及びプレス類）	約 20,000 点
映画資料（当館収集映画資料、ポスター、スチール及びプレス類）	邦画 5,630 タイトル 洋画 10,685 タイトル
福岡日日新聞（明治24年～昭和17年）西日本新聞（昭和17年以降） その他の貴重資料 筑前国産物帳、益軒書簡、シーボルト「日本」 福岡県関係近世古地図 「筑前秋月藩館下之図」、「筑前国十五郡三図（正保筑前国絵図）」 「柳河郭内之図」ほか多数	

ii 寄託資料

竹田文庫（藩儒記録）	約 4,000 点
衣笠文庫（郷土資料）	1,864 冊
杉山文庫（杉山茂丸氏・泰道氏・龍丸氏蔵書）（寄贈を含む）	約 1,000 点
夢野久作資料（小説家遺品）	約 100 点
禅寺洞文庫（吉岡禅寺洞氏遺品）	774 冊
方城町収集古文書（町文化財）	約 1,000 点
武谷文庫（武谷元立、祐之関係書簡ほか）	約 1,010 点
谷口資料（谷口良忠氏作成・収集鉄道関係資料）（寄贈を含む）	図書等 1,200 点 雑誌 43 タイトル

⑤ 古文書等複製化状況（令和2年度）

i マイクロフィルム撮影

（単位：巻）

No.	資料名	マイクロリール数
1	郷土行政資料（福岡県議会提要ほか）	45
計		45

ii デジタル化

No.	資料名	資料点数
1	小倉市新地図 ほか	6
2	改正福岡県精図 ほか	27
計		33

(2) 所蔵資料受入状況

① 図書資料

(単位：冊)

		R1年度末現在	R2年度増	R2年度末現在
総	記	36,678	646	37,324
哲	学	42,151	-210	41,941
歴	史	84,989	-212	84,777
社	会 科 学	171,025	-4,797	166,228
自	然 科 学	61,605	407	62,012
技	術	59,261	704	59,965
産	業	37,509	-49	37,460
芸	術	64,280	1,071	65,351
言	語	14,385	136	14,521
文	学	204,019	3,596	207,615
布	の 絵 本	144	4	148
紙	芝 居	1,566	33	1,599
行	政	33,228	341	33,569
郷	土	51,155	910	52,065
計		861,995	2,580	864,575
行政資料 (再掲)	福岡県	7,230	268	12,564
	福岡県市町村	5,066		
	国	17,506	73	21,005
	都道府県	3,426		

※ 学校貸出セットを除く。

② 逐次刊行物

		R 1 年度末現在 タイトル数	R 2 年度増 タイトル数	R 2 年度末現在 タイトル数	
雑	総 記 (G)	877	-4	873	
	人 文 (C)	501	-2	499	
	社 会 (S)	1,714	-3	1,711	
	科学・技術 (T)	1,945	-1	1,944	
	文 芸 (L)	1,091	-3	1,088	
	郷 土 (K)	4,763	-20	4,743	
	子 ど も (J)	171	0	171	
誌	行政資料	福岡県及び 県内市町村	2,911	22	2,933
		国及び都道府県	3,690	13	3,703
	計	17,663	2	17,665	
新 聞	一 般	234	2	236	
	郷 土	263	0	263	
	子 ど も	4	0	4	
	計	501	2	503	
法 令 集		5	0	5	
規格資料等		4	0	4	
合 計		18,173	4	18,177	

(3) 利用状況

① 入館者数

	30年度	R 1 年度	R 2 年度
入 館 者 数	325,027(1,149)	255,876(1,075)	174,205(691)
年間開館日数 (日)	283	(注1) 238	(注2) 252

※ () は 1 日平均

(注1) R1 年度は、特別整理及び空調等工事のため 12/1～31、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため 2/28～3/31 の期間休館

(注2) R2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため 4/1～5/18 の期間休館

② ホームページアクセス数

	30年度	R 1 年度	R 2 年度
ホームページアクセス数	382,603	340,148	703,864

※ R1 年度までは、トップページのアクセス数のみを計上

③ 図書資料貸出状況

		30年度	R 1 年度	R 2 年度
登録者数 (人)	一 般	120,723	123,280	126,221
	子 ど も	5,086	5,500	5,843
	計	125,809	128,780	132,064
利用件数 (人) (相互貸借を含む)	一 般	156,614	137,824	129,464
	子 ど も	13,239	11,765	10,289
	計	169,853	149,589	139,753
貸出冊数 (冊) (相互貸借を含む)	一 般	350,823	310,095	290,355
	子 ど も	93,888	83,992	79,715
	計	444,711	394,087	370,070
電子書籍閲覧回数				4,680

※ 電子書籍は R2 年 10 月 15 日から提供開始

録音図書

		30年度	R1年度	R2年度
個人	登録者数(人)	308	312	316
	利用冊数(冊)	1,434	1,309	1,596
	利用巻数(巻)	1,618	1,371	1,596
団体	利用団体数	101	107	110
	利用冊数(冊)	1,388	464	872
	利用巻数(巻)	1,390	466	874

指定館貸出・返却サービス利用件数

	30年度	R1年度	R2年度
受取利用(冊)	8,499	7,701	8,606
返却利用(冊)	5,143	4,816	3,667
計	13,642	12,517	12,273
協力館(館)	54	53	53

※協力館数は、年度末の数値。

相互貸借

	30年度	R1年度	R2年度
貸出(再掲)	17,163(うち県外1,439)	14,802(うち県外1,072)	14,623(うち県外1,067)
借受	3,758(うち県外713)	3,392(うち県外611)	3,315(うち県外534)

※ただし「県外」は公共図書館のみ

学校貸出図書セット

(単位：セット)

	30年度	R1年度	R2年度
貸出状況(再掲)	142	105	17

④ 資料の特別利用

	30年度	R1年度	R2年度
1 資料の復刻・翻刻	3件	3件	2件
2 資料掲載	66件	55件	46件
3 資料の放映	21件	30件	12件
4 その他(展示等)	41件	20件	19件
計	131件	108件	79件

⑤ 複写利用状況

		30年度	R1年度	R2年度
枚数	第2閲覧室	68,457枚	54,043枚	59,218枚
	ふくおか資料室	64,888枚	59,163枚	43,129枚
	計	133,345枚	113,206枚	102,347枚

※ カラーコピーは1枚30円、モノクロ、マイクロコピーは1枚10円

⑥ 「特別複写・自写申請書」による撮影枚数

	30年度	R1年度	R2年度
枚数	105,449枚	71,427枚	2,369枚

⑦ 「おはなし」の時間

日 時	対 象	内 容	
毎週水曜日 10時40分	0・1・2歳	絵本の読み聞かせ ストーリーテリング	
〃 11時 5分			
毎週土曜日 14時	幼児・小学生	紙しばい ほか	
	30年度	R1年度	R2年度
実施回数	142回	82回	81回
参加延人数	1,649人 (うち子ども 947人)	1,455人 (うち子ども 831人)	1,001人 (うち子ども 572人)

※令和2年7月1日から、毎週水曜日のおはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため同一内容で2回に分けて実施。

⑧ 子ども情報ルーム 学習目的利用者（内パソコン利用者）

	30年度	R1年度	R2年度
利用者数(人)	757(198)	786(323)	480(182)

⑨ 子ども読書普及活動講師派遣状況及び受講者数

	30年度	R1年度	R2年度
講師派遣件数(回数)	9件(10回)	6件(10回)	1件(1回)
受講者数(人)	—	287	50

⑩ 資料補修講師派遣状況及び受講者数

	30年度	R1年度	R2年度
講師派遣件数(回数)	2件(2回)	4件(4回)	0件(0回)
受講者数(人)	29	37	0

⑪ レファレンス件数

		30年度	R1年度	R2年度
面談	一般	34,052	28,667	28,776
	ふくおか資料室	3,360	3,423	1,868
	子ども室	6,290	4,533	4,068
	計	43,702	36,623	34,712
電話	一般	12,060	9,498	10,787
	ふくおか資料室	1,246	1,068	864
	子ども室	695	477	271
	計	14,001	11,043	11,922
文書	一般	185	273	329
	ふくおか資料室	180	26	17
	子ども室	0	0	0
	計	365	299	346
F A X	一般	34	53	60
	ふくおか資料室	57	87	9
	子ども室	0	0	1
	計	91	140	70
Eメール	一般	1,215	975	1,643
	ふくおか資料室	594	223	401
	子ども室	12	25	2
	計	1,821	1,223	2,046
ウオンテット (所在調査用掲示板)	一般	115	70	95
	ふくおか資料室	0	1	0
	子ども室	2	0	0
	計	117	71	95
合計	一般	47,661	39,536	41,690
	ふくおか資料室	5,437	4,828	3,159
	子ども室	6,999	5,035	4,342
	計	60,097	49,399	49,191

⑫ 書庫出納

	30年度	R1年度	R2年度
総記	2,127	1,876	1,541
哲学・宗教	3,336	3,055	2,483
歴史・地理	5,114	4,392	3,987
社会科学	6,408	5,536	4,901
自然科学	1,978	1,881	1,791
工学	1,857	1,653	1,828
産業	1,364	1,170	1,439
芸術	2,719	2,653	2,352
言語	613	553	559
文学	8,778	8,197	7,197
雑誌	6,577	4,348	8,612
子ども	11,698	11,738	12,497
郷土	14,032	14,029	11,128
その他※	3,002	2,550	4,053
合計	69,603	63,631	64,368

※「その他」には、新聞・AV資料・行政資料等を含む。

⑬ 県内公共図書館設置状況

	30年度末	R1年度末	R2年度末
市立	28(28)	28(28)	28(28)
町立	25(30)	25(30)	25(30)
村立	0(2)	0(2)	0(2)
合計	53(60)	53(60)	53(60)

()内は市町村数を表示している。

⑭ 録音図書室

○ 沿革

- 昭和40年 4月 盲人用録音物等発受施設の申請を郵政省へ提出 11月認可
- 11月 録音図書吹込開始(朗読ボランティア7名)
- 昭和42年 4月 福岡県文化会館 盲人用テープライブラリー発足
蔵書25冊(68巻) 利用登録者22名
- 昭和48年 4月 オープンリールからカセットに切り替える
- 昭和50年 録音図書制作ボランティアとして「福岡県朗読奉仕者の会」創立
- 昭和53年 2月 逐次刊行物「暮らしの手帖」録音版発刊
- 昭和53年 2月 朗読奉仕者の会会報「かけはし」創刊
- 10月 日本点字図書館団体登録が承認される
- 12月 国立国会図書館学術文献録音サービス受付機関となる
- 昭和56年 9月 福岡県朗読奉仕者の会が福岡市社会福祉協議会より表彰を受ける
- 昭和58年 4月 福岡県立図書館録音図書室としてスタート
- 昭和63年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が「第24回社会を明るくするフクニチ新聞社賞」を受賞
- 平成2年 6月 福岡県朗読奉仕者の会が厚生大臣表彰を受ける
- 平成6年10月 福岡県朗読奉仕者の会が「福岡県教育文化功労者表彰」を受賞
- 平成8年10月 録音図書校正ボランティア養成講座開催
(平成8年度生涯学習ボランティア活動総合推進事業)
- 平成11年 4月 福岡県立図書館所蔵録音図書情報インターネットで提供開始
- 平成16年 5月 福岡県朗読奉仕者の会が「緑綬褒章」を受章
- 平成19年12月 デイジー図書(デジタル音声情報システムによる録音図書)の貸出開始
- 平成22年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が会の名称を「福岡県立図書館音訳の会」に変更
- 平成24年 4月 サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館に加入
- 平成25年 9月 福岡県立図書館音訳の会が朗読録音奉仕グループ奨励賞(財団法人鉄道弘済会ほか主催)を受賞
- 平成27年 7月 サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館でのオンラインリクエスト受付開始
- 平成27年11月 「福岡県立図書館音訳の会」創立40周年記念講演会
- 平成28年11月 福岡県立図書館音訳の会が、第24回福岡県文化賞(社会部門)を受賞
- 平成30年11月 福岡県立図書館音訳の会が、平成30年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞
- 令和元年 7月 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスへ、デージー図書データ登録開始

(令和3年4月現在 音訳ボランティア42名)

○所蔵冊数 4,997冊(18,385巻)

10 令和2～3年度 新型コロナウイルス感染症対応記録

- R2/4/1(水) 県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
4月19日までの週末(4・5、11・12、18・19日)は、不要不急の外出を控えるなどの自粛要請が出た
このため、実施の準備をしていた土・日の予約本受取を取りやめとした
- R2/4/6(月) 福岡県を含む7都府県で「新型コロナ特措法」に基づく緊急事態宣言が7日午後
に発令される見通しとなった
- R2/4/7(火) 拡大運営会議にて、緊急事態宣言発令への対応策を協議し、インターネット予約
は4月7日(火)、予約資料の受取は4月8日(水)17時をもって、当面の間停止す
ることに決定
本の返却、webレファレンス、郵送による新規登録は継続
また、緊急事態宣言が発令され、県の方針が示された時点で、臨時休館延長の周
知を行うこととした
夕刻、緊急事態宣言発令(4/8～5/6)
図書館ボランティアは活動休止
- R2/4/8(水) 午前中、県有施設の臨時休館、5月6日まで延長決定
(R2/4/19から5/6まで、臨時休館延長)
- R2/4/10(金) 本庁から、以下3件の要請あり
①当館ホームページに、『福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部』からのお
知らせを掲載
②勤務時間中は、原則マスク着用
③業務継続のための分散勤務について、4月13日(月)から実施
- R2/4/13(月) 「緊急事態宣言に伴う事業者への要請について」(福岡県新型コロナウイルス感
染症対策本部会議)
- R2/4/14(火) 「在宅勤務の促進について(通知)」(教育長名)
- R2/4/20(月) 「新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための出勤者の削減について(通
知)」(教育長名) ⇒在宅勤務の促進
- R2/4/22(水) 運営会議で、5月7日以降開館となった場合の対応について協議
- R2/4/23(木) 5月7日から開館となった場合に備え、飛沫防止用のビニール等を購入
以後、再開スケジュールに従い、カウンター用の飛沫防止ビニール設置
- R2/4/24(金) 本庁から、以下2件の要請あり
①当館ホームページに、『福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部』からのお
知らせを掲載
②「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対応に係る使用許可団体等へ
の周知徹底について(通知)」(総務部財産活用課長名)

R2/5/4(月) 国の緊急事態宣言延長(5/6～5/31)を受けて、県も5月31日まで、緊急事態措置を延長することに決定(第9回新型コロナウイルス感染症対策本部会議)
これに伴い、県有施設の臨時休館も5月31日まで延長
(R2/5/7から5/31まで、臨時休館延長)

R2/5/11(月) 知事が、国の「特定警戒都道府県」指定が14日に解除されない場合でも、美術館や博物館、図書館の再開を検討すると発表

R2/5/12(火) 拡大運営会議で、再開のスケジュール等を協議し、以下のとおり概ね決定
5/15(金)～予約取置資料の受取再開
5/19(火)～第一閲覧室、子ども図書館のみ再開、新規予約、電話レファレンス再開
5/26(火)～第二閲覧室、ふくおか資料室再開
6/2(火)～学習室再開、相互貸借・指定館受取再開
7/1(水)～全館再開

R2/5/13(水) 運営会議で、再開のスケジュール最終確認
社会教育課より「サーモカメラの設置が再開に向けた必須条件となった」旨の連絡あり

R2/5/14(木) 国の緊急事態宣言解除を受けて、県でも一部の休業要請解除決定
県有施設では、博物館・美術館・図書館の再開決定
サーモカメラのデモを実施し、終了後、本館・別館入口にサーモカメラ設置

R2/5/15(金) 再開後の混雑を避けるため、事前に予約本の受取再開
(5/15(金)～17(日)9:00～17:00 職員通用口付近(外)で対応)

R2/5/18(月) 入館の際の受付作業、リハーサル実施 **(臨時休館は、R2/5/18で終了)**

※臨時休館中は、ホームページによる情報発信を強化し、(詳細は、ホームページ「自宅での学び・読書支援」のページ参照)県内市町村立図書館等の開館、休館情報も随時発信

R2/5/19(火) 第一閲覧室及び別室、子ども図書館再開(貸出・返却等、9:00～17:00)
来館者には、手指消毒、検温、利用者カードの提示等をお願いした上で、入館していただいた(本館・別館入口に人員を配置して対応)
1時間毎に、短時間の滞在をお願いする館内放送実施し、閉館10分前には「蛍の光」とともに閉館放送実施
予約受付を再開
社会教育課より、県の緊急雇用対策で、図書館でパートタイムの会計年度任用職員を募集すると連絡あり

R2/5/20(水) 滞在時間(1時間程度)のことを考慮して、学習室の再開は、完全開館となる7月1日からとし、併せて6月末まで子ども図書館を除き、別館自体を使用不可に変更

- R2/5/21(木) 図書館再開後、初の全体ミーティングを行い、終了後、以下の件を打ち合わせ
 ・閉館後、間引いた椅子の移動
 ・本日の新聞等は、25日(月)にエントランスホールへ配置
 ・対面レファレンスは、事前受付制にし、1時間以内で終了するように配慮
 本庁より、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等の周知について」依頼、HP、ツイッターで周知
- R2/5/25(月) 本館エントランスホールの新聞等配置と掲示変更
- R2/5/26(火) 第二閲覧室、ふくおか資料室再開 (9:00～17:00)
 新聞・雑誌最新号の閲覧も再開
- R2/6/2(火) 相互貸借・指定館受取再開
- R2/6/4(木) 本館・別館の受付について、原則として緊急短期雇用創出事業会計年度任用職員が対応することに変更
- R2/6/5(金) 本庁から、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等の周知について」依頼
 6月10日(水)、HP、ツイッターで周知
- R2/6/22(月) 本庁から、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等の周知について」依頼
 6月26日(金)、HP、ツイッターで周知
- R2/7/1(水) 学習室、カフェテリア再開 (9:00～17:00、カフェテリアは16:30まで)
第一閲覧室・別室、第二閲覧室、ふくおか資料室 (9:00～19:00)
 子ども図書館おはなし会再開
 図書館ボランティア活動再開
 館内の滞在時間は2時間までとする
- R2/11/11(水) R2/11/26(木)以降(※受付のための会計年度任用職員の任期終了)の対応について、運営会議で協議し、以下のとおり決定。

1 入館時の対応

(1)本館・別館共通 →11/25(水)に、サーモカメラ等の配置換え

エントランス対応の人員配置は行わず、以下の内容を掲示する。

- ①館内でのマスク着用(※館内で、マスクをしていない人を見かけたら、職員が声掛け)
- ②セルフ検温(※発熱など体調が悪い場合は、入館を控えてもらう)
- ③手指消毒
- ④自身による来館記録又は新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)の利用推奨。
 念のため、連絡先の記入用紙と回収箱をエントランスに配置。

(2)別館(土・日・祝日)

- ・学習室利用者への事前の座席札配布(混雑時のみ)

2 第二閲覧室、ふくおか資料室の閲覧席利用手続き

閲覧席利用の際は、カウンターで使い捨ての閲覧席札(※席の番号、日付、利用開始時間、利用終了時間は職員が記入)を利用者に渡し、退館の際にカウンター職員に渡してもらう。職員は、「閲覧席使用受付表」に利用開始時間と利用終了時間を記入する。閲覧席札は感染症対策のため、使用終了後は廃棄する。

→閲覧席札の様式は、調査相談班とふくおか資料室で調整の上、作成。

3 利用時間

全館概ね4時間以内の利用（レファレンスは30分以内）とし、短時間の利用を促す館内放送は、日に2回とする。

1回目 11:00

2回目 14:00

4 換気

3の館内放送に合わせて、換気を行う。

5 座席数

年内は現状のままとし、1月以降の状況を見て再度検討する。

R3/1/13(水) 県内の感染者数拡大に鑑み、緊急事態宣言が発出された場合の対応を、運営会議で協議し、以下のとおり決定。実施は、15日(金)からとする。

- 1 通常通りの開館とし、開館時間の短縮は行わない。
- 2 利用者の滞在時間は2時間に短縮する。
- 3 レファレンスは15分以内に短縮する。

※同日夕刻、緊急事態宣言発出(福岡県を含む)

→1月14日0時～2月7日24時 →期間延長(～3月21日) →3月1日福岡県解除

R3/1/14(木) 運営会議での決定事項を館内掲示・ホームページ等で周知。

R3/1/15(金) 運営会議での決定事項を実施。

R3/1/22(金) おはなし会、当面の間、先着順で整理券を配布し、1回につき5組までの参加とする。

R3/1/22(金) 第一閲覧室・第二閲覧室に図書除菌機設置。

R3/2/2(火) 子ども図書館に図書除菌機設置。

R3/2/22(月) 令和2～3年度の電子書籍購入費、2月補正予算「図書館サービス充実事業費」として県議会で議決され、予算成立(95,760千円)

2年度執行額：8,588千円

3年度執行額：87,172千円

R3/2/24(水)～3/5(金) 特別整理期間

- ・PC席・閲覧席へのアクリルボード・木製パーテーション設置
- ・閲覧室・事務室に空気清浄機設置

R3/3/25(木) 電子書籍423点リリース

(新型コロナウイルス感染症対策2月補正予算「図書館サービス充実事業費」による) ※暫定予算で購入した240冊と合わせて、663冊となる。

R3/3/29(月) ふくおか資料室のホームページ・デジタルライブラリ、リニューアル
(新型コロナウイルス感染症対策6月補正予算追加提案分による)

- R3/5/7(金)** 福岡県が緊急事態宣言の対象区域となったことを受け、県の新型コロナウイルス感染症対策本部は、緊急事態措置として、対象期間（5/12(水)～31(月)）における県有施設の原則閉館を決定。
- R3/5/8(土)** 拡大運営会議で協議し、以下のとおり決定。
県の対策本部会議の決定に従い、当館も5/12(水)～31(月)の臨時休館を決定。
5月8日(土)から9日(日)にかけて対外的な周知（HP、ILL、貼紙等）実施。
臨時休館中は、非来館でできるサービス（電話・FAX・メール・文書によるレファレンス、郵送登録、電子書籍などホームページ閲覧可）のみ実施し、予約本の受渡し、本の返却、研修やボランティア活動など図書館に来て行う行事等は、原則として中止・延期または書面開催とした。
- R3/5/20(木)** 電子書籍637点リリース（合計1,300点）
（新型コロナウイルス感染症対策2月補正予算「図書館サービス充実事業費」による。
- R3/5/28(金)** 緊急事態措置の延長（～6/20(日)）が決定。当館も6/20(日)まで臨時休館の延長を決定。
- R3/6/17(木)** 国の決定を受けて緊急事態措置を解除し、まん延防止等重点措置（～7/11(日)）へ移行。
当館は、6月22日(火)から通常開館。（すべてのサービスを再開）
- R3/6/18(金)** 電子書籍800点リリース（合計2,100点）
（新型コロナウイルス感染症対策2月補正予算「図書館サービス充実事業費」による。
- R3/7/30(金)** 電子書籍800点リリース（合計2,900点）
（新型コロナウイルス感染症対策2月補正予算「図書館サービス充実事業費」による。

